

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年2月12日
【四半期会計期間】	第40期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	株式会社 アイビー化粧品
【英訳名】	IVY COSMETICS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白銀 浩二
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03(3568)5151(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部 本部長 今橋 正道
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03(3568)5151(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部 本部長 今橋 正道
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第3四半期連結 累計期間	第40期 第3四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成26年 4月1日 至平成26年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	2,982,427	2,998,093	4,708,987
経常利益 (千円)	5,932	100,588	471,867
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( ) (千円)	35,887	43,730	436,846
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	33,053	44,979	437,979
純資産額 (千円)	2,578,083	2,985,740	3,049,115
総資産額 (千円)	4,882,216	5,504,310	5,763,213
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額( ) (円)	1.66	2.02	20.19
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	52.8	54.2	52.9

回次	第39期 第3四半期連結 会計期間	第40期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日	自平成26年 10月1日 至平成26年 12月31日
1株当たり四半期純損失金額 (円)	6.04	8.65

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 第40期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び第39期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第39期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の下振れリスクは懸念されるものの、政府の経済好循環、需要の継続的拡大に向けた積極的な各種政策の動きにより、回復基調の継続が期待されています。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をとともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間のコア事業におきましては、季節強化販売により顧客満足向上と定着化を図るため、保湿美容液、家庭用超音波美容器、及び「アイビーコスモス」スキンケアシリーズのセット販売に全社を上げて取り組みました。また、12月には「アイビー メークアップコレクション プリリアントデイズ」を新発売し、新規客増客と紹介促進、リピート拡大を推進し、美しい人づくりに努めてまいりました。

具体的には、カウンセリングの強化と合わせた「アイビーコスモス」モニター活用販促策や、エリア単位での販売組織との接点拡大施策の展開により販売組織支援を行うと共に、活動原動力となる「理念に共感した販売員」の拡大・育成を継続的に展開してまいりました。営業所増設と育成研修への動員が想定を下回ったことで、季節強化製品の伸び悩みはあったものの、当社の考えを浸透する理念系研修が好調に推移していることや、販売組織接点を継続強化したことで、売上面におきましては増収となりました。

台湾事業におきましては、コア顧客からの拡散、増客を継続展開してまいりました。

利益面におきましては、原価低減と継続した販売費及び一般管理費の節減に全社をあげて努めた結果、営業利益、経常利益は前年同四半期比増益となり、四半期純損益は前年同四半期の損失より当第3四半期連結累計期間の利益へ転換しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,998,093千円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益95,106千円（前年同四半期は4,912千円）、経常利益100,588千円（同5,932千円）、四半期純利益43,730千円（前年同四半期は四半期純損失35,887千円）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、193,686千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,520,000	25,520,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	25,520,000	25,520,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	25,520,000	-	804,200	-	343,800

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,887,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,476,000	21,476	-
単元未満株式	普通株式 157,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	25,520,000	-	-
総株主の議決権	-	21,476	-

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アイビー化粧品	東京都港区赤坂6丁目18番3号	3,887,000	-	3,887,000	15.23
計	-	3,887,000	-	3,887,000	15.23

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,000株(議決権の数3個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

平成26年12月31日現在の実質所有の自己株式数は、3,887,757株であります。

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 新任役員

該当事項はありません。

### (2) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
常務取締役	開發生産本部 本部長 兼 開発研究所 所長	外岡 憲明	平成26年10月28日

### (3) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 開發生産本部 本部長代行 兼 美里工場 工場長	取締役 開發生産本部 副本部長 兼 美里工場 工場長	室屋 浩一	平成26年11月4日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,531,534	1,773,900
受取手形及び売掛金	1,446,730	755,366
商品及び製品	372,130	442,674
仕掛品	11,349	18,796
原材料及び貯蔵品	166,328	203,284
未収還付法人税等	-	71,224
その他	128,196	128,841
貸倒引当金	6,138	5,976
<b>流動資産合計</b>	<b>3,650,131</b>	<b>3,388,112</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	401,722	377,883
機械装置及び運搬具(純額)	38,299	30,445
土地	521,190	521,190
リース資産(純額)	9,600	8,228
その他(純額)	29,623	50,091
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,000,435</b>	<b>987,838</b>
<b>無形固定資産</b>		
投資その他の資産	43,605	39,329
<b>投資その他の資産</b>		
投資不動産(純額)	269,319	265,677
退職給付に係る資産	232,748	273,366
差入保証金	391,191	384,982
その他	225,277	212,391
貸倒引当金	61,591	59,100
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,056,945</b>	<b>1,077,317</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,100,986</b>	<b>2,104,486</b>
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	12,095	11,711
<b>繰延資産合計</b>	<b>12,095</b>	<b>11,711</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,763,213</b>	<b>5,504,310</b>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	371,407	420,351
短期借入金	800,000	770,000
1年内償還予定の社債	284,000	84,000
未払法人税等	111,933	134
賞与引当金	68,011	42,538
ポイント引当金	298	213
その他	352,717	333,240
流動負債合計	1,988,368	1,650,479
固定負債		
社債	616,000	744,000
その他	109,729	124,090
固定負債合計	725,729	868,090
負債合計	2,714,097	2,518,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,287,578	3,223,144
自己株式	1,270,665	1,270,855
株主資本合計	3,164,912	3,100,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,880	4,129
土地再評価差額金	118,678	118,678
その他の包括利益累計額合計	115,797	114,548
純資産合計	3,049,115	2,985,740
負債純資産合計	5,763,213	5,504,310

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,982,427	2,998,093
売上原価	752,387	701,398
売上総利益	2,230,039	2,296,695
販売費及び一般管理費	2,225,126	2,201,588
営業利益	4,912	95,106
営業外収益		
受取利息	3,118	2,829
受取配当金	474	507
受取保険金	-	41,604
受取賃貸料	46,811	28,572
雑収入	16,881	17,170
営業外収益合計	67,286	90,685
営業外費用		
支払利息	10,535	10,466
賃貸収入原価	50,228	30,431
被災資産修繕費	-	30,253
雑損失	5,502	14,051
営業外費用合計	66,266	85,203
経常利益	5,932	100,588
特別損失		
減損損失	-	866
特別損失合計	-	866
税金等調整前四半期純利益	5,932	99,722
法人税、住民税及び事業税	8,725	19,016
法人税等調整額	33,094	36,974
法人税等合計	41,820	55,991
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	35,887	43,730
四半期純利益又は四半期純損失( )	35,887	43,730

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	35,887	43,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,834	1,248
その他の包括利益合計	2,834	1,248
四半期包括利益	33,053	44,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,053	44,979

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
減価償却費	80,720千円	69,607千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	216,352	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	108,165	5.00	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	1円66銭	2円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	35,887	43,730
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	35,887	43,730
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,634	21,632

(注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年2月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、経営環境の変化に柔軟に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| (1) 取得対象株式の種類  | 当社普通株式                |
| (2) 取得する株式の総数  | 2,000,000株(上限とする)     |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 500,000,000円(上限とする)   |
| (4) 取得期間       | 平成27年2月12日～平成27年2月27日 |

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月10日

株式会社アイビー化粧品

取締役会 御中

東光監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 昌也 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中島 伸一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイビー化粧品の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイビー化粧品及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 強調事項

重要な後発事象に記載のとおり、会社は平成27年2月10日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議した。

当該事項は当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。